

# 将来の喜界島を支える農業青年の育成 ～喜界町農業青年クラブの活動支援～

所 属 名：大島支庁農政普及課喜界町駐在  
発表者名：田中 正一

## <活動事例の要旨>

喜界島は、県下有数の農業地帯でサトウキビを主幹作物として、畜産や園芸等の産地化が進められている。また近年はほ場整備と畑かん整備が進み、畑かんによる高収益な畑作農業を推進している。しかし近年、農家の高齢化等による担い手農家の減少が顕著で、将来の喜界島の農業や地域を支える若手農業者の育成と確保が急務となっている。

このような中、しばらく活動が休止されていた農業青年クラブが活動を再開しており、将来の喜界島の農業と地域を支える担い手の育成と確保を図るため、関係機関と連携し、農業青年クラブの活動支援およびクラブ員個々の資質向上に取り組んだ。

その結果、農業青年クラブ員の自主的な活動による農業体験企画の実施や、商工会青年部との連携によるハウィン等のイベントが成功し、その活動はテレビ番組で放映される等、農業青年クラブの活動と併せて喜界島農業の魅力発信に貢献した。またクラブ員に対する個別あるいは集団指導によって、青年農業士の取得や経営の向上が図られた。

## 1 計画された活動の課題・目標と策定過程

### (1) 課題・目標と設定理由、及び活動の内容と方法

喜界島は、県下有数の農業地帯で近年は基盤整備と畑かん整備が進み、サトウキビを主幹作物として、畜産や園芸および果樹の産地化が進められている。しかし、農家の高齢化等による担い手農家の減少が顕著であり、将来の喜界島の畑かん営農や地域を支える担い手の育成と確保が急務となっている。このような中、近年活動を休止していた農業青年クラブ活動が再開された。(当時19名→現在26名)

またクラブ員は畑かんの推進品目(かぼちゃ、トマト、マンゴー、ブロッコリー、ごま)の重要な担い手にもなっている。そこで、地域農業の振興に大いに寄与する農業青年クラブを重点指導対象に位置づけ、①農業青年クラブ活動支援(リーダー育成やイベント企画実施の支援等)、②クラブ員個々の資質向上支援(農業基礎講座や簿記指導、プロジェクト実践指導および個別巡回による技術や経営の指導)を行った。

### (2) 計画の策定過程

- ア 関係機関との課題の共有と役割分担等の明確化
- イ 普及計画への位置づけ(平成28年～)
- ウ 計画策定(関係機関や農業クラブ員との実践計画の検討)

## 2 普及活動の内容

### (1) 活動の経過

#### ア 農業青年クラブ活動支援

クラブ活動の活性化を図るため、関係機関と連携して、定例会等の開催時において活発な話し合い活動の促進やイベント企画等の実践に係る指導助言を行った。

#### イ クラブ員の資質向上支援

クラブ員の資質向上を図るため、関係機関と連携して、農業技術の基礎講座研修や農業簿記指導を実施するとともに、個別巡回によるプロジェクト実践指導や技術・経営指導を行った。

### (2) 指導・支援の体制

指導・支援の内容に応じて、適宜、役場や農協等の関係機関の担当者と連携して、農業青年クラブあるいは個々のクラブ員に対する指導・支援を行った。

### 3 普及活動の成果

#### (1) 課題及び目標の達成状況とその要因

##### ア 農業青年クラブ活動支援

農業青年クラブの自主的な企画と実践による農業体験ツアーや、喜界町商工会青年部との協賛によるハロウィン等のイベントの開催は、テレビ番組で紹介され、またここ数年の小学生等を対象とした食育に関する取り組みが表彰の対象にされる等、農業青年クラブ活動のPRや喜界町の重点推進品目であるかぼちゃ等を含め喜界島農業の魅力発信につながった。自主的活動ができるリーダーの育成が図られたことが成功の要因となった。



農業体験ツアー(カボチャの定植)



カボチャイベントの実践

##### イ クラブ員の資質向上支援

個別あるいは関係機関と連携したプロジェクト実践支援によって、地区及び群島青年農業者会議でのプロジェクト発表や意見発表がなされ、青年農業士取得につながった。また、かごしまの"食"交流推進セミナーにおいて、農業青年クラブ会長が農業体験ツアー等の取り組みを発表し食育・地産地消に取り組む先進的な団体として「H30年度地産地消等優良事例」の発表を行った。一方、クラブ員の早期経営安定を図るため、各種の技術・経営の支援を行った結果、施設トマトのクラブ員が目標生産額を達成できた。



トマト現地指導

#### (2) 活動に対する生産者・農家の評価

地域の現状把握、課題設定および取り組みにおいて適切であるとの意見が得られた。

#### (3) 地域農業振興への貢献

将来の喜界島農業や地域の担い手として、農業振興に貢献できた。

### 4 今後の普及活動に向けて

#### (1) 今後の課題

##### ア 農業青年クラブ活動支援

- ・関係機関と連携した多方面からの継続的な支援
- ・新規就農者の農業青年クラブへの誘導 等

##### イ クラブ員の資質向上

- ・プロジェクト実践指導と青年農業士の育成
- ・クラブ員各自の早期経営安定 等

#### (2) 今後の活用に向けて

- ・農業青年クラブ育成の活動事例の一つとして活用できる。